

令和8年2月市議会 環境経済委員会資料

第52号議案 令和8年度長崎市一般会計補正予算（第1号）

目次	(予算説明書頁)	(資料頁)
[7款 商工費]		
7・1・4 観光費		
1 観光振興対策費		
1 観光地域づくり推進費	12~13	2~5
2 長崎さるく推進費	12~13	6~9
2 観光客誘致対策費		
1 観光客誘致推進費	12~13	10~13
2 観光客受入環境整備費	12~13	14~15
3 インバウンド誘致広域連携事業費	12~13	16~17
4 平和・観光魅力発信事業費	12~13	18~19
5 長崎港クルーズ客船受入委員会負担金	12~13	20~22
3 夜景観光推進費		
1 世界・日本新三大夜景推進費	12~13	23~29
4 観光施設管理運営費		
1 総合観光案内所運営費	12~13	30~33

文化観光部
令和8年2月

経済再生アクションプラン該当事業
A1 受入態勢の充実・A2 高付加価値化による消費単価の向上・A3 戦略的なプロモーション

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
12~13	7 商工費	1 商工費	4 観光費	1-1	観光地域づくり推進費	千円 ▲116,302

1 概要

令和7年度国庫補助である地域未来交付金を活用し、令和8年度に予定していた事業の一部を前倒して実施するため、減額するもの。

2 事業内容

(1)観光誘客プロモーション業務 249,950千円

令和8年度 1号補正額 ▲116,302千円

令和7年度 11号補正額 116,302千円

(令和8年度当初予算額 249,950千円 + 令和8年度1号補正 ▲116,302千円 = 令和8年度予算額 133,648千円)

ア 委託先 一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会(平成30年3月30日DMO法人に登録)

イ 事業概要

本事業については、令和8年度当初予算において地域未来交付金を活用し、OTA等を活用したプロモーション等を強化することで、年間を通じて安定的な誘客を図るとともに、民間事業者と連携し、観光サービスの質を向上させることで、高付加価値旅行者の誘客促進と消費拡大を図る取組みを実施することとしていた。

国の内示を受けたことに伴い、令和8年度の事業予算の一部を令和7年度に前倒して実施するため、令和8年度当初予算について減額補正を行うもの。

ウ 取組内容及び補正額内訳

(単位:千円)

基本 施策	取組内容	補正額 (物件費+人件費)	当初予算額 (物件費+人件費)
A1	a 高付加価値コンテンツ造成(旧サステナブルツーリズム) 販売チャネル(販売経路)の整備・セールスアプローチを行うことで、これまで 造成・商品化した高付加価値体験や地域課題の解決に資するモデルプラン、コンテンツ単体の実売に繋げるもの。	▲4,898	4,898
	b インバウンド客の消費拡大 市内飲食店・大型商業施設等に対し、多様性対応のための実践的なセミナー開催、メニュー開発に向けた個別支援を実施するもの。	▲7,350	7,350
A2	c 国内への情報発信とプロモーション (a) シーズンプロモーション 22,105千円 (b) 長崎市公式観光サイト「travel Nagasaki」記事制作等 646千円 (c) ブランドサイト運営・拡張 3,132千円 (d) 着地型観光MAP・ポスター・リーフレット印刷 15,569千円 (e) 冬の魅力を活用した冬季需要喚起プロモーション 6,000千円 ※旬の魅力(冬の魚)発信キャンペーン (f) その他、広報業務 1,495千円	▲48,947	80,902
	d 海外への情報発信とプロモーション (a) 多言語Webサイト(Discover Nagasaki)の運用 3,323千円 (b) 旅行会社の招聘 1,263千円 (c) 長崎MAPデータ改修に伴う翻訳(4か国語) 1,226千円 (d) 韓国向けプロモーション(OTA活用、メディア・インフルエンサー招聘)4,723千円	▲10,535	11,963
	e MICEのセールス活動 (a) 市内事業者と連携した首都圏商談会の開催 2,283千円 (b) 大型MICEに関するキーパーソン招聘 1,157千円 (c) セールスカタログ・パンフレット作成 1,081千円	▲4,521	12,874
	f 教育旅行のセールス活動 (a) 「プランニングガイド」制作 996千円 (b) 教育旅行視察招聘 1,618千円	▲2,614	17,469
	g 観光地マーケティングリサーチ	—	29,498

(単位:千円)

基本 施策	取組内容	補正額 (物件費+人件費)	当初予算額 (物件費+人件費)
B1	h オンラインコンテンツ掲載強化と受入体制の充実 (a) オンラインでのコンテンツ掲載強化(体験コンテンツ、Googleビジネス プロフィール登録・更新) 7,898千円 (b) 英語ガイド「Nagasaki Crew(ナガサキクルー)」育成 7,850千円	▲15,748	18,668
	i MICE・教育旅行の受入強化 セミナーの開催やマッチング支援を通じて、主催者及び事業者の育成・連携強化 を図り、MICE・教育旅行の受入体制の充実と受注拡大につなげるもの。	▲3,660	3,660
B2	j MICE事業者・宿泊事業者との連携強化 動画制作やデジタルガイド等の情報発信強化により、MICE参加者の市内回遊を 促進するもの。	▲3,382	4,641
	k 長崎市観光まちづくりネットワークの活性化 情報発信や交流・マッチングの場の提供により、事業者連携の強化とネットワー クの活性化を図るもの。	▲1,425	1,425
C1	l 長崎のふつうは世間のふしぎ浸透策 ブランドコミュニケーション「長崎のふつうは世間のふしぎ。」のコンテンツ制作と 活用強化により、市民が日常的に触れ、楽しみながら自ら発信する機運を醸成する もの。	▲5,310	5,310
C2	m 市民の観光への理解促進 ワークショップ開催や読本制作を通じて、市民の観光への理解促進を図るもの。	▲7,912	7,912
合計		▲116,302	206,570

当初予算額の総計 (一般管理費及び消費税込み)

249,950

3 財源内訳

区分	事業費	財源内訳				
		国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	千円 252,450	千円 58,151	千円 -	千円 -	千円 -	千円 194,299
補正額	千円 ▲116,302	千円 ▲58,151	千円 -	千円 -	千円 -	千円 ▲58,151
補正後の額	千円 136,148	千円 0	千円 -	千円 -	千円 -	千円 136,148

※ 地域未来交付金(地域未来推進型) 補助率:1/2

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
12~13	7 商工費	1 商工費	4 観光費	1-2	長崎さるく推進費	千円 ▲19,950

1 概要

令和7年度国庫補助である地域未来交付金を活用し、令和8年度に予定していた事業を前倒して実施するため、減額するもの。

2 事業内容

(1)「長崎さるく」の推進 19,950千円

令和8年度 1号補正額 ▲19,950千円

令和7年度 11号補正額 19,950千円

(令和8年度当初予算額 19,950千円 + 令和8年度1号補正 ▲19,950千円 = 令和8年度予算額 0千円)

本事業については、令和8年度当初予算において地域未来交付金を活用し、「長崎さるく」20周年を契機に、関係団体と連携した市民参画の促進によりシビックプライドの醸成を図ることとし、あわせて、多様なニーズに応じた新コンテンツの創出することにより、まち歩き観光の魅力向上と受入態勢の強化、来訪動機の創出につなげることをしていた。

国の内示を受けたことに伴い、令和8年度の事業予算の一部を令和7年度に前倒して実施するため、令和8年度当初予算について減額補正を行うもの。

ア 20周年関連施策の実施

7,909千円

(ア) 市民参画によるシビックプライドの醸成

1,891千円

- まち歩き団体による周年行事の実施
- まちあるき団体との連携（通年）

まち歩き団体との20周年関連イベントを実施するとともに、「日本まち歩きフォーラムin長崎」などで、長崎さるく20周年の歩みと今後の展開を紹介し、持続可能な長崎さるくの取組を広く発信する。



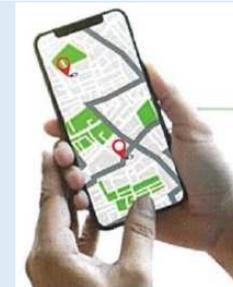
(イ) 観光DXの推進

5,207千円

- 没入体験ができる都市周遊型のデジタルコンテンツの提供（10月～3月）

スマートフォンの映像と音声により、設定する世界観に没入しながら、長崎の歴史・文化を体験できるデジタルコンテンツを制作し、謎解きゲーム感覚でまち歩きを楽しむもの。

これまでさるくを利用したことのない若年層の取り込みも図る。



(ウ) 民間活力を生かした新たな魅力の創造

811千円

- 地域資源・魅力を民間活力などの新たな視点での発掘（通年）

民間活力を活用し、新たな資源の創出するもので、例えば、長崎の坂も含めた低山登山を新しい観光資源として顕在化させ、新たな層の誘客につなげるような取り組みを検討する。

イ 機運醸成（4月～9月）	4,497千円
（ア）さるく20周年オープニングイベントの実施	2,396千円
（イ）20周年PR装飾バナー制作 （中心市街地約130カ所・懸垂幕：市役所1カ所、中心市街地1カ所）	1,905千円
（ウ）まち歩きセミナー・まち歩きガイド向け研修の開催	196千円
ウ 周知広報	4,419千円
（ア）20周年特設webページの制作	2,175千円
（イ）ミドルインフルエンサー（※）招聘 （※フォロワーが10万人以上いるインフルエンサー）	847千円
（ウ）まち歩きカレンダー制作 （さるく参加者分8,000枚＋総合観光案内所3,000枚）	734千円
（エ）ポスター・チラシ制作配布 （ポスター2,000枚、チラシ：宿泊施設・さるく参加者・観光案内所20,000枚）	663千円
エ ホームページ管理・予約システム関連事務費	3,125千円
（ア）長崎さるくホームページ管理運営	1,877千円
（イ）予約システム保守管理	958千円
（ウ）その他事務費	290千円

3 財源内訳

区分	事業費	財源内訳				
		国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	千円 42,957	千円 9,975	千円 -	千円 -	千円 12,107	千円 20,875
補正額	千円 ▲19,950	千円 ▲9,975	千円 -	千円 -	千円 -	千円 ▲9,975
補正後の額	千円 23,007	千円 0	千円 -	千円 -	千円 12,107	千円 10,900

※ 地域未来交付金（地域未来推進型） 補助率：1/2

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
12~13	7 商工費	1 商工費	4 観光費	2-1	観光客誘致推進費	千円 ▲22,054

1 概要

令和7年度国庫補助である地域未来交付金を活用し、令和8年度に予定していた事業の一部を前倒して実施するため、減額するもの。

2 現状と課題

- ・令和6年の観光消費額は2,130億円で、令和元年比42.8%増加したが、訪問客数は5.5%減の654万425人であった。
- ・このうち宿泊客数は0.2%減である224万8,300人となっており、目標の371万8,000人には届いていない。
- ・また、月別では6月、12月、1月が訪問客数が少ないため、これらの時期に向けた誘客が求められる。
- ・観光動向調査によると、国内外の訪問客の長崎市での過ごし方の上位は「地元の美味しいものを食べる」であり、食は重要な誘客要素であるため、長崎市では、長崎の新鮮な「魚」を活かした誘客を進めている。
- ・長崎は行ってみたい観光地として全国8位、訪問意欲率は74.6%と高い。
- ・令和7年度に実施した宿泊税に関する宿泊事業者向けアンケート(回答率45.2%)では、閑散期における宿泊促進キャンペーン実施の意見が多く寄せられている。

3 事業内容

(1) 宿泊促進キャンペーン事業 52,054千円

令和8年度 1号補正額 ▲22,054千円

令和7年度 11号補正額 22,054千円

(令和8年度当初予算額 52,054千円 + 令和8年度1号補正 ▲22,054千円 = 令和8年度予算額 30,000千円)

ア 事業概要

令和8年度当初予算において、地域未来交付金を活用して、令和7年度に造成した旬の魚を活用する新たなメニューを起点に誘客を図り、年間訪問客数の平準化及び観光消費の拡大を目指すものとしており、特に閑散期における宿泊促進を図るため、新たなメニューの提供店舗を含む市内飲食店(さしみシティ賛同店舗 約130店舗)で利用可能なクーポンを発行する宿泊キャンペーンを実施することとしていた。

本事業については、国の内示を受けたことに伴い、令和8年度の事業予算の一部を令和7年度に前倒しして実施するため、令和8年度当初予算について減額補正を行うもの。

(ア) 個人旅行者向け

市内の対象施設に宿泊予約後、専用ページで予約情報を入力した個人旅行者に対し、宿泊時に1人あたり3,000円のクーポン券を配布。クーポン券は市が指定する飲食店で利用可能。

イ 実施体制

本事業の実施主体は、長崎市旅館ホテル組合とし、以下の団体と協力して事業を推進する。

協力団体: 宿泊施設協議会、長崎国際観光コンベンション協会、グルメシティ長崎協議会、さしみシティ賛同店舗、旅行代理店 など

ウ 実施期間及び目標値

目標宿泊者数は、次年度(令和8年度)における以下の宿泊者数増加を目指す。

12月: 26.7万人泊(令和6年実績26.2万人泊から5,000人増)

1月: 21.5万人泊(令和6年実績21.1万人泊から5,000人増)

合計で10,000人の増加を目標とする。

エ 事業検証

本事業は、他都市で実施されている宿泊キャンペーン事例を参考に実証的に実施し、認知度や訪問客数の推移、経済効果を検証することにより、次年度以降に向けた課題の整理を行う。

3 事業内容

オ 事業費内訳

委託料 52,054千円

令和8年度 1号補正額 ▲22,054千円

令和7年度 11号補正額 22,054千円

(令和8年度当初予算額 52,054千円 + 令和8年度1号補正 ▲22,054千円 = 令和8年度予算額 30,000千円)

<内訳>

(ア) 事務局運営業務委託料 合計 21,054千円

・システム構築費用(初年度のみ)(操作マニュアル、加盟店一覧、加盟店マップ制作) 4,840千円

・運営費用(システム利用料、コールセンター、クーポン在庫調整などの進行管理、
加盟店の現場管理) 15,609千円

・加盟店への精算事務費用(実績集計、加盟店への入金処理、振込手数料) 605千円

(イ) Travel nagasakiへのキャンペーン特設ページ制作料 1,000千円

(ウ) クーポン発行額 @3,000×10,000人=30,000千円

4 宿泊キャンペーン事業 スケジュール(案)

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
事業者契約	→			
宿泊プラン造成・周知		→		
キャンペーン実施			→	
精算			→	

5 財源内訳

区分	事業費	財源内訳				
		国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	千円 58,178	千円 11,027	千円 -	千円 -	千円 -	千円 47,151
補正額	千円 ▲22,054	千円 ▲11,027	千円 -	千円 -	千円 -	千円 ▲11,027
補正後の額	千円 36,124	千円 0	千円 -	千円 -	千円 -	千円 36,124

※ 地域未来交付金(地域未来推進型) 補助率:1/2

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
12~13	7 商工費	1 商工費	4 観光費	2-2	観光客受入環境整備費	千円 ▲3,974

1 概要

令和7年度国庫補助である地域未来交付金を活用し、令和8年度に予定していた事業の一部を前倒して実施するため、減額するもの。

2 事業内容

(1) オーバーツーリズム対策警備業務 3,974千円

令和8年度 1号補正額 ▲3,974千円

令和7年度 11号補正額 3,974千円

(令和8年度当初予算額 3,974千円 + 令和8年度1号補正 ▲3,974千円 = 令和8年度予算額 0千円)

ア 事業概要

本事業については、令和8年度当初予算において、地域未来交付金を活用して、クルーズ客船入港時や大型イベント実施時において、混雑が予想される場所に警備員を配置して交通渋滞などの発生を抑制することとしていた。

国の内示を受けたことに伴い、令和8年度の事業予算の一部を令和7年度に前倒して実施するため、令和8年度当初予算について減額補正を行うもの。

(ア) クルーズ客船入港時の警備員配置 3,974千円

乗客が2,000人以上のクルーズ客船が入港する際やクルーズ客船が2隻同時入港する際に、ツアーバスの乗客による集団移動により、交通に悪影響を及ぼしている。

それらの観光客を誘導する誘導員を大浦海岸通電停付近及び、新地中華街電停付近の横断歩道に配置し、歩行者と車両の交通整理を行うことで、交通混雑を緩和する。

また、出島の観光バス停留場においては、観光バスが長時間停車する場合は、公共交通機関の運行の妨げになるため、随時声掛けを行う。

3 財源内訳

区分	事業費	財源内訳				
		国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	千円 11,215	千円 1,987	千円 -	千円 -	千円 -	千円 9,228
補正額	千円 ▲3,974	千円 ▲1,987	千円 -	千円 -	千円 -	千円 ▲1,987
補正後の額	千円 7,241	千円 0	千円 -	千円 -	千円 -	千円 7,241

※ 地域未来交付金(地域未来推進型) 補助率:1/2

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
12~13	7 商工費	1 商工費	4 観光費	2-3	インバウンド誘致広域連携事業費	▲7,000 千円

1 概要

令和7年度国庫補助である地域未来交付金を活用し、令和8年度に予定していた事業を前倒して実施するため、減額するもの。

2 事業内容

インバウンド誘致広域連携事業費 7,000千円

令和8年度 1号補正額 ▲7,000千円

令和7年度 11号補正額 7,000千円

(令和8年度当初予算額 7,000千円 + 令和8年度1号補正 ▲7,000千円 = 令和8年度予算額 0千円)

本事業については、令和8年度当初予算において地域未来交付金を活用し、参画自治体や関係機関(国、広域DMO、民間事業者等)と協力し、西日本・九州の自治体間の広域連携を推進することで長崎へのインバウンド誘客を図り、交流人口の拡大を目指すこととしていた。

国の内示を受けたことに伴い、令和8年度の事業予算を令和7年度に前倒して実施するため、令和8年度当初予算について減額補正を行うもの。

(1)西のゴールデンルートアライアンス事業 4,500千円

ア 実施主体 西のゴールデンルート実行委員会（19自治体で構成）

イ 事業内容

欧米豪現地に対するメディアやWeb、SNSでの「旅マエ」情報発信および、欧米豪旅行会社に対するFAMツアーの実施や海外商談会参加によるセールス等を実施。

(2)被爆80周年記念長崎・広島連携事業 2,500千円

ア 実施主体 広島・長崎連携観光キャンペーン実行委員会

イ 事業内容 長崎～広島相互誘客への旅ナカPR

令和7年度の取組みにより創出された観光商品の顕在化・PRを行うため、民間団体との連携を強化する。また、長崎市と広島市を訪れる訪日外国人を対象に、両市の世界遺産など観光資源や魅力をPRすることで、旅ナカでの行動変容を促し、相互誘客を図る。

3 財源内訳

区分	事業費	財源内訳				
		国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	千円 7,000	千円 3,500	千円 -	千円 -	千円 -	千円 3,500
補正額	千円 ▲7,000	千円 ▲3,500	千円 -	千円 -	千円 -	千円 ▲3,500
補正後の額	千円 0	千円 0	千円 -	千円 -	千円 -	千円 0

※ 地域未来交付金(地域未来推進型) 補助率:1/2

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
12~13	7 商工費	1 商工費	4 観光費	2-4	平和・観光魅力発信事業費	▲20,000 <small>千円</small>

1 概要

令和7年度国庫補助である地域未来交付金を活用し、令和8年度に予定していた事業を前倒して実施するため、減額するもの。

2 事業内容

(1) 平和・観光魅力発信事業費 20,000千円

令和8年度 1号補正額 ▲20,000千円

令和7年度 11号補正額 20,000千円

(令和8年度当初予算額20,000千円 + 令和8年度1号補正 ▲20,000千円 = 令和8年度予算額 0千円)

ア 事業概要

本事業については、令和8年度当初予算において、地域未来交付金を活用して、アメリカの主要メディア「New York Times」電子版の「2026年に訪れるべき52か所」に「長崎市」が選定されたことを契機に、平和を切り口としてより深く、幅広く長崎の魅力の発信を行うことで、認知度向上を図り、欧米豪からのインバウンド誘客の増加と消費の拡大を図ることとしていた。

国の内示を受けたことに伴い、令和8年度の事業予算を令和7年度に前倒して実施するため、令和8年度当初予算について減額補正を行うもの。

2 事業内容

- (1) 国内外メディアによる情報発信 6,000千円
- ・「ニューヨーク・タイムズ紙」に長崎市を推薦した日本在住のライターを招聘する。
 - ・国内海外(在日)メディア、インフルエンサー等を招聘する。
- (2) プロモーション映像制作・情報発信 3,000千円
- ・欧米豪向けに特化したプロモーション映像制作と情報発信を実施する。また、制作映像をYouTubeに掲載、Google広告、OTA(Expedia等)との連携広告を実施する。
 - ・「ニューヨーク・タイムズ紙」の「2026年に行くべき52カ所」において紹介された施設等をはじめ、軍艦島、世界遺産関係(キリシタン関連遺産)、平和関連(平和公園、原爆資料館、クスノキなど)のほか、食文化等、欧米豪に訴求力の高いコンテンツを選定し、テーマやストーリーを重視したプロモーションを実施する。
- (3) 米国現地プロモーション 11,000千円
- ・ニューヨークで行われる国際会議の機会に合わせ、長崎の平和・観光のPRを実施する。
 - ・現地メディア、旅行会社へのセールス活動
 - ・現地イベント、集客施設におけるPR出展

3 財源内訳

区分	事業費	財源内訳				
		国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	千円 20,000	千円 10,000	千円 -	千円 -	千円 -	千円 10,000
補正額	千円 ▲20,000	千円 ▲10,000	千円 -	千円 -	千円 -	千円 ▲10,000
補正後の額	千円 0	千円 0	千円 -	千円 -	千円 -	千円 0

※ 地域未来交付金(地域未来推進型) 補助率:1/2

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
12~13	7 商工費	1 商工費	4 観光費	2-5	長崎港クルーズ客船受入委員会 負担金	千円 ▲9,800

1 概要

令和7年度国庫補助である地域未来交付金を活用し、令和8年度に予定していた事業を前倒して実施するため、減額するもの。

2 長崎港クルーズ客船受入委員会の概要

(1) 長崎港クルーズ客船受入委員会負担金 9,800千円

令和8年度 1号補正額 ▲9,800千円

令和7年度 11号補正額 9,800千円

(令和8年度当初予算額 9,800千円 + 令和8年度1号補正 ▲9,800千円 = 令和8年度予算額 0千円)

ア 事業概要

本事業については、令和8年度当初予算において、地域未来交付金を活用して、長崎港クルーズ客船受入委員会に負担金を支出することで、効果的なクルーズ振興及び観光・物産振興に寄与し、クルーズ客船の入港数の増加を図ることとしていた。

国の内示を受けたことに伴い、令和8年度の事業予算を令和7年度に前倒して実施するため、令和8年度当初予算について減額補正を行うもの。

イ 組織の概要 (会長:長崎市長)

構成団体:観光・経済団体、船舶関係 7団体

賛助会員:交通事業者、観光施設など 18団体

ウ 受入委員会の体制

- ・専従職員1名 (長崎港クルーズ客船受入委員会雇用)
- ・業務委託スタッフ (責任者1名ほかスタッフ1~3名)
- ・ボランティアスタッフ

エ 主な活動内容

(ア) インフォメーション

- ・観光マップの提供、路面電車1日乗車券の販売
- ・外貨両替対応

(イ) 歓送迎イベント

- ・初入港等歓迎イベント(令和6年度 14回実施)
- ・出港時イベント(令和6年度 83回実施)

(ウ) 各種連絡会議への参加による意見交換、 誘致セールス・視察対応(県との共同)



オ 経費内訳(受入委員会の収支予算(案))

単位:千円

収入		支出	
1 会員負担金	20,800	1 給料	2,530
長崎市	9,800	2 職員手当	1,227
長崎県	9,600	3 共済費	732
長崎商工会議所	300	4 報償費	4,490
長崎県観光連盟	300	5 旅費	978
長崎国際観光コンベンション協会	300	6 需用費	1,191
長崎倉庫(株)	300	7 役務費	410
(株)澤山商会	200	8 委託料	11,921
2 賛助会員負担金	470	9 使用料及び借り上げ料	4,621
3 助成金(長崎県)	5,200	10 負担金、補助及び交付金	3
4 雑収入	200	11 積立金	317
5 前年度繰越金	4,100	12 予備費	2,350
合計	30,770	合計	30,770

3 財源内訳

区 分	事 業 費	財 源 内 訳				
		国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	千円 9,800	千円 4,900	千円 -	千円 -	千円 -	千円 4,900
補正額	千円 ▲9,800	千円 ▲4,900	千円 -	千円 -	千円 -	千円 ▲4,900
補正後の額	千円 0	千円 0	千円 -	千円 -	千円 -	千円 0

※ 地域未来交付金(地域未来推進型) 補助率:1/2

4 参考資料

●長崎港における年次別クルーズ客船入港実績(暦年)

暦年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
隻数	197	267	220	183	10	1	9	96	160	198

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
12~13	7 商工費	1 商工費	4 観光費	3-1	世界・日本新三大夜景推進費	▲10,140 千円

1 概要

令和7年度国庫補助である地域未来交付金を活用し、令和8年度に予定していた事業の一部を前倒して実施するため、減額するもの。

2 現状と課題

- ・平成29年度に策定した環長崎港夜間景観向上基本計画等に基づき、長崎市内の夜景関連のハード整備等は一定完了した。
- ・令和6年12月に日本新三大夜景として再認定(期間:令和7年度~令和9年度)された。
- ・夜景を目的とした観光客の割合は17.3%(R6実績)となっており、軍艦島クルーズと同率となっている。(同率5位)
- ・豊富な夜景資源を有する一方で、施設が点在していることなどにより、認知度のばらつきや、観光客が効率的に周遊する仕組みが不足している。
- ・宿泊型観光の推進や次回の日本新三大夜景認定(令和10年度~令和13年度)に向けて、滞在時間の延長と回遊性向上に資する取り組みを行う必要がある。

3 事業内容

令和8年度 1号補正額 ▲10,140千円

令和7年度 11号補正額 10,140千円

令和8年度 当初予算額 4,282千円

(令和8年度当初予算額 14,422千円 + 令和8年度1号補正 ▲10,140千円 = 令和8年度予算額 4,282千円)

夜景関連事業においては、国の内示を受けたことに伴い、令和8年度の事業予算の一部を令和7年度に前倒しして実施するため、令和8年度当初予算について減額補正を行うもの。

(1) 夜景情報発信等 5,422千円

ア 海外夜景サミット参加費 3,730千円

一般社団法人夜景観光コンベンション・ビューロー主催の海外夜景サミットへ出席し、現地旅行会社や交通事業者などへの観光情報説明会や商談会、また現地メディアへのプロモーションを行う。

(ア) 旅費 1,610千円

- ・ 開催地: 未定(R7開催地の台湾を基本として想定)
- ・ 参加者: 4名(長崎市議会議長、市長、課長、担当者(予定))

(イ) 参加負担金 2,120千円

イ 国内夜景サミット参加費 355千円

一般社団法人夜景観光コンベンション・ビューロー主催の国内夜景サミットへ出席し、夜景観光を促進している国内の都市と、夜景観光の更なる発展のため、魅力や課題を共有する。

(ア) 旅費 345千円

- ・ 開催地: 仙台市(予定)
- ・ 参加者: 2名(市長、課長(予定))

(イ) 参加負担金 10千円

3 事業内容

ウ 名月サミット参加費 277千円

一般社団法人夜景観光コンベンション・ビューローの主催による、「名月」が魅せる景観美の発掘と観光資源化を行うことを目的とした名月サミットへ参加し、名月資源活用に向けた事例共有、各地連携における新たな夜景商品の造成と可能性の追求などを図るもの。

(ア)旅費 267千円

- ・ 開催地:未定(関東方面での開催が想定されるため東京都で算定)
- ・ 参加者:2名(市長、課長(予定))

(イ)参加負担金 10千円

エ 日本新三大夜景情報発信(負担金) 1,000千円

(ア)相手方:一般社団法人夜景観光コンベンション・ビューロー

(イ)内 容:日本新三大夜景都市の連携・共同情報発信(長崎市・北九州市・横浜市)

- ・日本新三大夜景公式webサイトの情報更新
- ・夜景Love Walker、イルミぴあなどのメディア掲載の広告出稿費
- ・プロモーションイベント開催費など

オ 夜景演出意見徴収謝礼金 60千円

(ア)相手方:一般社団法人夜景観光コンベンション・ビューロー

(イ)内容:令和8年度以降の民間事業者等と連携した夜景演出を検討するにあたって、専門的な見地から意見を徴収するもの。(20千円×3回)

3 事業内容

(2)夜景キャンペーン開催経費 9,000千円

長崎市内に点在する既存ライトアップ施設(グラバー園、洋館群、出島など)に、スマートフォンで読み取る専用灯具を設置し、スタンプラリー形式による周遊促進、滞在時間の延長を図る。

ア 事業期間

令和8年度(12月~1月の間の1か月程度)

イ 参加者数見込み

500人程度

ウ 主な内容

(ア)企画及び灯具作成委託 7,000千円

・相手方:一般社団法人夜景観光コンベンション・ビューロー

(内訳)

灯具作成費 165千円×20箇所 = 3,300千円

システム構築費等 1,700千円

マネジメント経費等 2,000千円

(イ)既存アプリ改修及び運営委託 2,000千円

・相手方:株式会社ゼンリン

(内訳)

ストローカルアプリシステム登録料

特典商品の手配及び配送業務

その他付随業務(アプリ上での発信、スタンプラリー実施データの提供)

3 事業内容

(3) 夜景キャンペーン開催イメージ

ア 知名度のある施設を中心として、ストーリー性のあるルートを複数構成

(例)

① 歴史×光ルート

大浦天主堂⇒東山手洋館群⇒オランダ坂⇒グラバー園⇒旧香港上海銀行長崎支店記念館

② お寺×光のルート

若宮稲荷神社⇒興福寺⇒眼鏡橋⇒みなと公園

③ 港×光のルート

水辺の森⇒出島ワーフ⇒出島

イ 参加者は好きなルートを選択し周遊

ウ 各スポットの「専用灯具」をスマホアプリで読み取りチェックイン。

エ チェックイン時に各スポットの歴史や観光情報を提供

オ 参加者にはチェックイン数に応じて参加賞や抽選で地元特産品の提供を予定

【イメージ図:夜景キャンペーン】



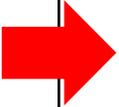
【イメージ図:専用灯具チェックイン】



【イメージ図:インセンティブ】



4 スケジュール

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
関係者調整 (システム改修、周遊先調整、プロモーション準備)				
試験運用・改善				
本格運用				
効果検証				

5 経過(夜景)

年度	内容
平成24年度	世界新三大夜景認定(長崎・香港・モナコ)
平成27年度	日本新三大夜景認定(長崎・札幌・神戸) 日本百名月認定(稲佐山)、日本夜景遺産認定(グラバー園)
平成30年度	日本新三大夜景認定(長崎・北九州・札幌)
令和3年度	世界夜景サミット開催(長崎市) 世界新三大夜景認定(長崎・モナコ・上海) 日本新三大夜景認定(長崎・北九州・札幌)
令和6年度	名月サミット開催(長崎市) 日本新三大夜景認定(長崎・北九州・横浜)

6 財源内訳

区分	事業費	財源内訳				
		国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	千円 14,422	千円 5,070	千円 -	千円 -	千円 -	千円 9,352
補正額	千円 ▲10,140	千円 ▲5,070	千円 -	千円 -	千円 -	千円 ▲5,070
補正後の額	千円 4,282	千円 0	千円 -	千円 -	千円 -	千円 4,282

※ 地域未来交付金(地域未来推進型) 補助率:1/2

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
12~13	7 商工費	1 商工費	4 観光費	4-1	総合観光案内所運営費	千円 ▲40,232

1 概要

令和7年度国庫補助である地域未来交付金を活用し、令和8年度に予定していた事業を前倒して実施するため、減額するもの。

本事業については、国の内示を受けたことに伴うもの。

2 事業内容

令和8年度 1号補正額 ▲40,232千円

令和7年度 11号補正額 40,232千円

(令和8年度 当初予算額 40,232千円 + 令和8年度1号補正 ▲40,232千円 = 令和8年度予算額 0千円)

(1)施設の管理運営 37,859千円

ア 概要 施設の管理運営を行うもの。

イ 主な内容

(ア)案内、警備、消防点検等委託(32,699千円)

(イ)電子複写機、多言語通訳システム等使用料(2,213千円)

(ウ)電気使用料負担金(1,936千円)

(エ)その他(1,011千円)

修繕料、一般消耗品費、通信料等



2 事業内容

(2)インタラクティブサイネージの導入 1,338千円

ア 概要

原爆資料館に、観光客が自分で操作し、主要な観光地の情報や次の目的地へのアクセスなど必要な観光情報を入手できるインタラクティブサイネージを設置する。

イ 設置時期

令和8年7月頃

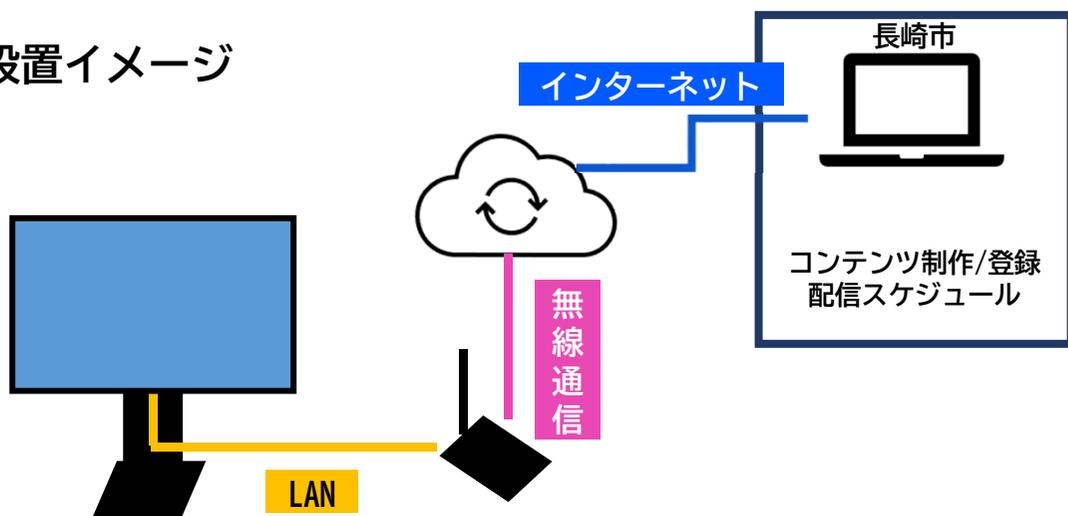
ウ 主な内容

(ア)ディスプレイ購入 (728千円)

(イ)コンテンツ運用経費(610千円)

コンテンツ運用委託、使用料等

設置イメージ



2 事業内容

(3)出張案内の実施 1,035千円

ア 概要

観光案内機能強化を図るため、主要観光地である眼鏡橋周辺に期間限定の出張案内所(案内人)を配置し、現地での動線案内・交通案内・次訪問先の提案を行うもの

イ 実施時期

例年多くの観光客が訪れる5月及び11月頃に、各1か月間、週末の3時間程度実施

ウ 主な内容

(ア)案内等委託(1,035千円)

案内人の配置、事前研修等

【令和7年度実証実験状況】



3 財源内訳

区 分	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金※1	県支出金	地方債	その他※2	一般財源
補正前の額	千円 40,232	千円 20,116	千円 -	千円 -	千円 5,333	千円 14,783
補正額	▲40,232	▲20,116	-	-	-	▲20,116
補正後の額	0	0	-	-	5,333	▲5,333

※1 地域未来交付金(地域未来推進型) 補助率:1/2

※2 総合観光案内所管理費負担金